

リンドウの病害虫の発生状況（6月中下旬） ※例年・・・2015～2023年の9年間平均

1 葉枯病

巡回調査における発生ほ場割合は、高い状況でした（図1）。また、上位葉の発病も確認されています。まん延すると防除が困難になるので、防除を徹底してください。多湿条件が続くと発病しやすくなるので、これからの梅雨入りに備えて、予防散布を心掛けてください。

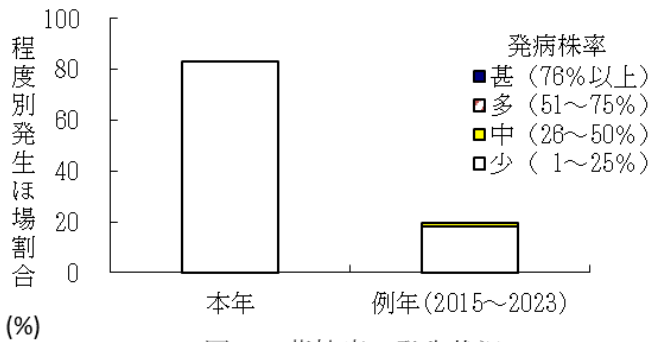


図1 葉枯病の発生状況



写真1 リンドウ葉枯病の病斑

2 ハダニ類

巡回調査では、寄生は確認されませんでした（図2）。ほ場をよく確認して、低密度時から防除を徹底してください。

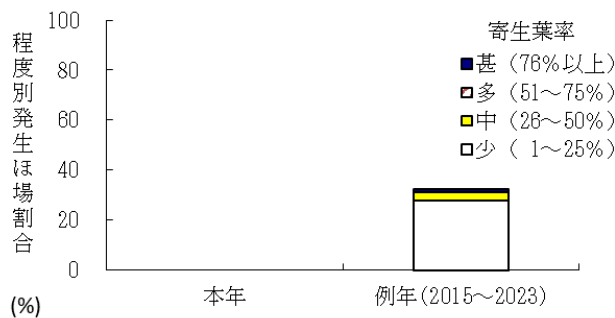


図2 ハダニ類の発生状況

3 リンドウホソハマキ

巡回調査における発生割合は例年並で、発生時期はやや早い状況でした（図3）。茎内に侵入した幼虫は薬剤防除が難しいので、被害茎は見つけ次第抜き取り、必ずほ場外で処分してください。

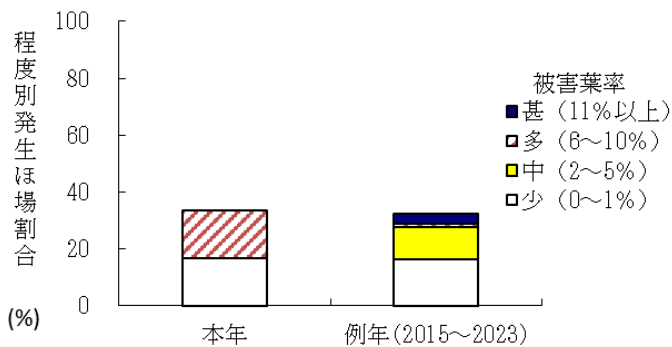


図3 リンドウホソハマキの発生状況



写真2 リンドウホソハマキ成虫

● 情報内容への質問や要望は、福島県病害虫防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709 Fax:024-958-1727 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp